

医学教育分野別評価

神戸大学医学部医学科 年次報告書 2023年度

評価受審年度 2018年度

2023年8月

神戸大学医学部医学科

1. 使命と学修成果	1.4 使命と成果策定への参画
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
今後、使命と学修成果を見直す際には、教員だけでなく、職員や学生代表も議論に参加し、意見を反映させるべきである。	
改善状況	
医学部教員に加えて、学生、他部局教員、外部委員、学務課職員が参加した委員会を開催した。使命と学修成果のあり方に係る検討を行なった。	
今後の計画	
カリキュラム策定運用委員会において、学生を交えて使命と学修成果の見直しについて検討する。	
改善状況を示す根拠資料	
1.4-1,2 令和4年度 教育研究 IR 委員会議事要旨 (6月14日, 11月7日)	
1.4-3,4 令和4年度 カリキュラム策定運用委員会議事要旨 (6月28日, 11月28日)	
1.4-5 令和4年度 医学部医学科教育改革諮問委員会議事要旨 (8月3日)	

1. 使命と学修成果	1.4 使命と成果策定への参画
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
使命と学修成果の策定には、より広い範囲の教育の関係者が参加することが望まれる。	
改善状況	
医療制度の利用者をメンバーに加えた医学部医学科教育改革諮問委員会で、使命と学修成果のあり方に係る検討を行なった。	
今後の計画	
年2回開催するカリキュラム策定運用委員会において、医学部医学科教育改革諮問委員会からの提言に基づき、使命と学修成果の見直しについて検討する。	
改善状況を示す根拠資料	
1.4-5 令和4年度 医学部医学科教育改革諮問委員会議事要旨（8月3日）	

2. 教育プログラム	2.1 プログラムの構成
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
アクティブラーニングをより充実すべきである。	
改善状況	
3年次に開講した「臨床医学総論」において臨床倫理に係るアクティブラーニング授業を実施した。	
今後の計画	
次年度は、6年次に開講する「臨床総括講義」において、臨床倫理のアクティブラーニングを行う。	
改善状況を示す根拠資料	
2.1-1 2022 シラバス（臨床医学総論） 2.1-2 第8回 倫理教育ワーキング議事メモ（12月26日） 2.1-3 第9回 倫理教育ワーキング議事メモ（3月29日） 2.1-4 医学科会議（2月・資料2-3：6年次「臨床総括講義」について）	

2. 教育プログラム	2.4 行動科学と社会医学、医療倫理学と医療法学
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
行動科学においては、体系的な教育プログラムを構築し、実践すべきである。	
改善状況	
授業科目「行動科学」について、学生アンケートと授業の振り返りを行い、授業の内容について検討を行った。	
今後の計画	
授業内容のさらなる充実を図るため、臨床実習の中で、行動科学による実践を計画する。	
改善状況を示す根拠資料	
2.1-1 2022 シラバス（臨床医学総論）	

2. 教育プログラム	2.4 行動科学と社会医学、医療倫理学と医療法学
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
時代に対応して体系的に行動科学、社会医学、医療倫理学、医療法学のカリキュラムを調整していくことが望まれる。	
改善状況	
医療倫理学・医療法学の改善を図り、体系的なカリキュラムを開始した。	
今後の計画	
社会医学の体系化について、今後一層の改善を図る。	
改善状況を示す根拠資料	
2.4-1 令和4年度 第1回教育研究 IR委員会（資料1）	
2.1-2 第8回 倫理教育ワーキング議事メモ（12月26日）	
2.1-3 第9回 倫理教育ワーキング議事メモ（3月29日）	

2. 教育プログラム	2.5 臨床医学と技能
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<p>重要な診療科における十分な実習期間を確保すべきである。 学生が経験すべき症例と臨床技能を明確にし、すべての学生が修得できるような臨床実習カリキュラムを定め実践すべきである。</p>	
改善状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から臨床実習1を導入し、令和4年度から順次臨床実習2・臨床実習3を導入した。 ・臨床実習におけるミニマム・リクワイアメントを設定した。 	
今後の計画	
<p>学生が経験すべき臨床技能については明確化できたものの、実際に経験された症候や手技の集計結果に基づき、さらなる改善を図っていく。</p>	
改善状況を示す根拠資料	
<p>2.5-1, 2, 3 2022 シラバス（臨床実習1，臨床実習2，個別計画実習） 2.5-4 6年次「臨床実習2」診療参加型臨床実習におけるミニマム・リクワイアメント</p>	

2. 教育プログラム	2.6 プログラムの構造、構成と教育期間
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<p>基礎医学および臨床医学教育における水平的統合を、より推進することが望まれる。 基礎医学、行動科学および社会医学と臨床医学の垂直的（連続的）統合を推進することが望まれる。</p>	
改善状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・「イメージング」について教育研究・IR委員会で振り返りを行い、問題点を明らかにした。 ・引き続き「ニューロサイエンス」の開講、基礎医学、行動科学および社会医学と臨床医学の垂直的（連続的）統合を推進するための議論を進めた。 	
今後の計画	
<p>基礎医学、行動科学および社会医学と臨床医学の垂直的（連続的）・水平的統合のあり方について再検討していく。</p>	
改善状況を示す根拠資料	
1.4-2 令和4年度 教育研究・IR委員会議事要旨（11月7日）	

3. 学生の評価	3.1 評価方法
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<p>知識、技能および態度を含む評価を確実に実施すべきである。</p> <p>学生の学修を促進するために、試験の適正な回数と内容を検証すべきである。</p> <p>評価が担当教員以外の外部の専門家によって吟味される仕組みを構築すべきである。</p>	
改善状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・マイルストーン・ロードマップ（案）を作成し、医学科教育改革諮問委員会に意見を求めた。 ・学生の学修を促進するために、引き続き試験の適正な回数と内容を検証した。 ・各評価方法について、学内においては教育研究・IR委員会、学外からの意見については医学部医学科教育改革諮問委員会において検討した。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ロードマップ案について、実用化に向けて検討する。 ・半期ごとに開催される教育研究・IR委員会の中で、試験を含めた評価方法について、多分野の委員により吟味していく。 	
改善状況を示す根拠資料	
<p>1.4-5 令和4年度 医学部医学科教育改革諮問委員会議事要旨（8月3日）</p> <p>3.1 教員による授業振り返り 11. コミュニケーション学</p>	

3. 学生の評価	3.1 評価方法
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
評価方法の信頼性と妥当性を検証し、明示することが望まれる。	
改善状況	
<p>教員各自が授業振り返りを行い、授業コーディネータが、学修評価の方法を再点検し、より妥当性や信頼性の優れた評価ができる改善した。教育研究 IR 委員会にて、各科目の学修評価方法を集計し、分析する仕組みを作った。</p>	
今後の計画	
<p>引き続き、教員各自が授業振り返りを行い、授業コーディネータが、学修評価の方法を再点検し、より妥当性や信頼性の優れた評価ができるよう改善していく。教育研究 IR 委員会にて、各科目の学修評価方法を集計し、分析していく。</p>	
改善状況を示す根拠資料	
<p>1.4-1,2 令和4年度 教育研究・IR 委員会議事要旨（6月14日，11月7日）</p> <p>1.4-3,4 令和4年度 カリキュラム策定運用委員会議事要旨（6月28日，11月28日）</p>	

3. 学生の評価	3.2 評価と学習との関連
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<p>目標とする学修成果を学生が達成していることを組織的に評価する仕組みを作るべきである。</p>	
<p>目標とする学修成果を全学生が達成するために形成的評価を活用すべきである。</p>	
改善状況	
<p>目標とする学修成果を全学生が達成するための形成的評価について、令和4年度コアカリキュラムの改訂を受け、医学部医学科教育改革諮問委員会で他大学の取組み、見解を確認した。</p>	
今後の計画	
<p>令和4年度にコアカリキュラムが改訂になったことを受け、目標とする学修成果を全学生が達成するために、ロードマップの改訂やさらなる評価の改善法に取り組む。</p>	
改善状況を示す根拠資料	
<p>1.4-5 令和4年度 医学部医学科教育改革諮問委員会議事要旨（8月3日）</p>	

3. 学生の評価	3.2 評価と学習との関連
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<p>カリキュラム単位ごとに評価結果に基づいたフィードバックを行い、学修成果の達成に向かって学修意欲を促進することが望まれる。</p> <p>臨床実習において、mini-CEX、360度評価、ポートフォリオなどを利用したパフォーマンス評価を充実し、臨床実習期間全体を通して適切なフィードバックを行う体制を構築することが望まれる。</p>	
改善状況	
<p>うりぼーネット上の「学修の記録」については、1年から4年までほぼ100%の記載状況が達成されている。</p>	
今後の計画	
<p>臨床実習において、mini-CEX、360度評価、ポートフォリオなどを利用したパフォーマンス評価を充実し、臨床実習期間全体を通して適切なフィードバックを行う体制を構築してゆく。新たに電子ポートフォリオの構築、活用方策について、専門企業と協議を行い導入していく。</p>	
改善状況を示す根拠資料	
3.2 令和4年度「学修の記録」回答状況	

4. 学生	4.3 学生のカウンセリングと支援
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
学修上の問題に対するカウンセリング制度とその体制を充実すべきである。 社会的、経済的、および個人的事情に対応した学生支援プログラムを充実すべきである。	
改善状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和1～3年度で整備したカウンセリング制度について、継続して体制の維持、充実を図った。 ・すでに導入済みの5-6年生に加え、1-4年生についてもチューター制度を導入し、全学年への導入が完了した。 ・令和4年度も、コロナ禍で経済的に困窮している学生の支援のために、特別奨学金を給付した。 	
今後の計画	
構築したチューター制度について、さらなる制度の充実に向けて検討する。	
改善状況を示す根拠資料	
4.3-1 医学科会議（6月・資料1-4：医学科緊急奨学生募集要項）	

4. 学生	4.3 学生のカウンセリングと支援
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
全学生に対して、評価結果に基づいた経時的な学修上のカウンセリングを実施することが望まれる。	
改善状況	
年次進行により、全学生に対して、教員チューター制度を整備し、評価結果に基づいた経時的な学修上のカウンセリングを実施できるよう、体制を整えた。	
今後の計画	
構築したチューター制度について、評価結果に基づいた経時的な学修上のカウンセリングを実施するべく、さらなる制度の充実に向け検討する。	
改善状況を示す根拠資料	
4.3-2 教務学生委員会（4月・資料9：チューター制度（1～3年）について）	

5. 教員	5.2 教員の活動と能力開発
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
教員に対する教育能力開発をより充実させ、全教員の教育への理解を推進すべきである。	
改善状況	
学内外の全教員に対し、臨床実習2・3に係るFDを実施した。3月に、臨床実習2の振り返りFDを行った。	
今後の計画	
臨床実習2・3に係るFDを継続するとともに、新コア・カリキュラムに関するFDを行う。	
改善状況を示す根拠資料	
5.2-1 令和4年度 6年次「臨床実習2」指導医講習会_プログラムタイトル（神戸大学医学部附属病院）	
5.2-2 令和4年度 6年次「臨床実習2」指導医講習会_プログラムタイトル（関連病院）	
5.2-3 令和4年度 6年次「臨床実習3」指導医講習会_プログラムタイトル	
5.2-4 第8回神戸大学医学部教授による医学教育ワークショップ（通知）	

6. 教育資源	6.1 施設・設備
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
学生用の自習スペースは不足しており、自習スペースを整備すべきである。	
改善状況	
福利厚生施設の建て替えに伴い、自習スペース確保のためのラーニングコモンズについて協議を行った。	
今後の計画	
令和5年6月の新福利厚生棟の竣工に伴い、旧福利厚生棟を改修し、その中にラーニングコモンズを整備する。	
改善状況を示す根拠資料	
6.1-1 第1回ラーニングコモンズWG議事要旨（8月30日）	
6.1-2 第2回ラーニングコモンズWG議事要旨（10月13日）	

6. 教育資源	6.2 臨床トレーニングの資源
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
学内外の指導医に対する FD をさらに推進し、指導力の養成を図るべきである。	
改善状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・関連病院実習と個別計画実習を臨床実習 2・臨床実習 3 に改変するのに伴い、実習説明会を複数回開催して実習内容の周知を図った。 ・3月に実施した振り返り FD において、グッドプラクティスの共有を行った。 	
今後の計画	
引き続き、臨床実習 2・3 に係る学内外 FD を推進し、グッドプラクティス共有にむけた FD を行う。	
改善状況を示す根拠資料	
5.2-4 第 8 回神戸大学医学部教授による医学教育ワークショップ（通知）	

6. 教育資源	6.3 情報通信技術
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
「神戸大学 BEEF」の活用の促進、およびインターネット環境のさらなる改善が望まれる。学生が正規の電子カルテに記載できることが望まれる。	
改善状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・全カリキュラムで BEEF の利用は定着した。 ・学生の正規電子カルテ記入に関する整備を行うため、WG を開催して、学生カルテの取り扱いの考え方や仕様を決定し、予算額を見積もった。 	
今後の計画	
正規電子カルテへの学生の記入システムを導入する。	
改善状況を示す根拠資料	
6.3-1 第1回学生の電子カルテ運用に関する打ち合わせ（議事要旨）（10月21日） 6.3-2 第2回学生の電子カルテ運用に関する打ち合わせ（議事要旨）（11月30日） 6.3-3 第3回学生の電子カルテ運用に関する打ち合わせ（議事要旨）（1月20日）	

7. プログラム評価	7.1 プログラムのモニタと評価
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
学生の学修成果をカリキュラムとその主な構成要素、学生の進歩の視点から、データを収集し、現行のカリキュラムの課題を特定し対応すべきである。	
改善状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・学生の授業振り返り・実習アンケートと授業コーディネータ教員による授業振り返りの実施から、教育研究・IR 委員会での分析、カリキュラム策定運用委員会での改善実施という教育のPDCA サイクルを回した。 ・教育研究・IR 委員会で検討した事案について、次のとおり関連委員会等へ提言等を行った。 ・前年度に審議された学生の負担軽減策に係る提言に基づき、「生化学」、「医学史と医学概論」「地域医療システム論」に係る科目の修業年次が変更された。 ・英語を使用した授業のあり方について、アンケートを実施し、英語改革 WG へ提言することとなった。 ・情報科学のアンケート結果について審議し、WG を立ち上げ次年度以降の授業内容の改訂について審議開始した。 	
今後の計画	
引き続き、学生の授業振り返り・実習アンケートと授業コーディネータ教員による授業振り返りの実施から、教育研究・IR 委員会での分析、カリキュラム策定運用委員会での改善実施という教育のPDCA サイクルを回していく。	
改善状況を示す根拠資料	
7.1 医学部医学科 教育研究・IR 委員会について	

7. プログラム評価	7.1 プログラムのモニタと評価
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
教育活動とそれが置かれた状況、カリキュラムの特定の構成要素、長期間で獲得される学修成果、社会的責任の視点で定期的にプログラムを包括的に評価することが望まれる。	
改善状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究・IR委員会にて、大学院入学者・教員入職者へのアンケート、卒業生の初期研修先への達成度アンケートを分析し、長期間で獲得される学修成果、社会的責任の視点で包括的に評価した。 ・令和3年度に作成したマイルストーンとその評価法を含むロードマップの利便性を考慮した変更について、医学科教育改革諮問委員会委員にて意見を問うた。 	
今後の計画	
<p>今後も、教育研究・IR委員会において卒業生アンケートを分析し、長期にわたって評価を継続していく。</p> <p>教育活動とそれが置かれた状況、カリキュラムの特定の構成要素、長期間で獲得される学修成果、社会的責任の視点から、プログラムのモニタと評価ができるシステムを構築していく。</p>	
改善状況を示す根拠資料	
1.4-5 令和4年度 医学部医学科教育改革諮問委員会議事要旨（8月3日）	

7. プログラム評価	7.2 教員と学生からのフィードバック
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<p>学生からのフィードバックは、主に授業評価にとどまっており、卒業試験アンケートもカリキュラムアンケートになっていない、1年次から6年次に至るプログラム構成（目標、方略、評価を含む）について、その改善に資するような情報をフィードバックとして受けるべきである。</p> <p>教員からのフィードバックを系統的に求め、分析し、対応すべきである。</p>	
改善状況	
<p>教育研究・IR委員会を活用して、1年次から6年次に至るプログラム構成（目標、方略、評価を含む）について、教員からのフィードバックを含め、その改善に資するような情報を受け、教員からのフィードバックを系統的に求め、分析し、対応した。</p>	
今後の計画	
<p>引き続き、教育研究・IR委員会が中心となり、1年次から6年次に至るプログラム構成（目標、方略、評価を含む）について、教員からのフィードバックを含め、その改善に資するような情報を受け、教員からのフィードバックを系統的に求め、分析し、対応していく。</p>	
改善状況を示す根拠資料	
<p>1.4-1,2 令和4年度 教育研究・IR委員会議事要旨(6月14日, 11月7日)</p>	

7. プログラム評価	7.2 教員と学生からのフィードバック
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
フィードバックを受けてプログラムを開発する仕組みはあるが、フィードバックが十分ではなく、プログラム改善に至っていない。学生、教員、社会から、それぞれのニーズを把握し、分析、評価して、プログラム開発につなげることが望まれる。	
改善状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究・IR委員会がアンケート集計結果と分析結果を、カリキュラム策定運用委員会等の教学系委員会や教授会のほか、関連病院の指導医FDなどで報告を行い、外部、社会からのフィードバック体制を整えた。 ・医学教育改革諮問委員会、カリキュラム策定運用委員会を開催して、広く助言を求めてプログラム開発につなげた。 	
今後の計画	
今後とも、教育研究・IR委員会において十分にフィードバックを収集し、学生や社会から広く意見を募ったうえで、カリキュラム策定運用委員会においてプログラム開発につなげる。	
改善状況を示す根拠資料	
<p>1.4-1,2 令和4年度 教育研究IR委員会議事要旨（6月14日，11月7日）</p> <p>1.4-3,4 令和4年度 カリキュラム策定運用委員会議事要旨（6月28日，11月28日）</p> <p>1.4-5 令和4年度 医学部医学科教育改革諮問委員会議事要旨（8月3日）</p>	

7. プログラム評価	7.3 学生と卒業生の実績
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
学生ならびに卒業生の実績に関する情報を系統的に収集・分析し、使命と期待される学修成果に沿った人材が育成されているかを検討し、プログラムの改善に利用すべきである。	
改善状況	
系統的に集めた、初期研修先病院からの評価、卒業生の大学院入学時のアンケート、卒業生の教員入職時のアンケートを収集・分析し、使命と期待される学修成果に沿った人材が育成されているかを検証し、プログラムの改善に取り組んだ。	
今後の計画	
これまでの各種アンケート結果によると、研修先病院から神戸大学医学部卒業生の積極性が十分でない指摘されることがあり、コンピテンス「向上心」「リーダーシップ」の観点から、達成度を上げる学修プログラムのあり方について検討していく。	
改善状況を示す根拠資料	
7.3 2022年度 神戸大学医学部医学科出身卒業生（研修医）アンケート	

7. プログラム評価	7.3 学生と卒業生の実績
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<p>学生と卒業生の背景と状況に関する実績を分析することが望まれる。</p> <p>学生の実績を分析し、その解析結果を学生選抜、カリキュラム立案や学生支援に関わる委員会にフィードバックすることが望まれる。</p>	
改善状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・学生の背景と状況に関する実績を分析するとともに、卒業生についても、分析した。 ・教育研究・IR委員会が収集、分析したデータをカリキュラム策定運用委員会、教務学生委員会にフィードバックした。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究・IR委員会が収集、分析した学生/卒業生の背景と状況に関する実績の分析結果やPROGテスト結果を、カリキュラム策定運用委員会、教務学生委員会及び入学システム検討委員会にフィードバックしていく。 	
改善状況を示す根拠資料	
<p>1.4-1,2 令和4年度 教育研究IR委員会議事要旨（6月14日，11月7日）</p> <p>1.4-3,4 令和4年度 カリキュラム策定運用委員会議事要旨（6月28日，11月28日）</p>	

7. プログラム評価	7.4 教育の関係者の関与
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
他の関連する教育の関係者に、課程ならびにプログラムの評価結果を基に、フィードバックを求めることが望まれる。	
改善状況	
医学教育改革諮問委員会を開催して、カリキュラムについて他大学教育関係者や関連病院の教育担当者を含む外部委員の評価を受けてカリキュラム改善を図った。	
今後の計画	
引き続き、医学教育改革諮問委員会を開催して、カリキュラムについて他大学教育関係者や関連病院の教育担当者を含む外部委員の評価を受けてカリキュラム改善を図っていく。	
改善状況を示す根拠資料	
1.4-5 令和4年度 医学部医学科教育改革諮問委員会議事要旨（8月3日）	

8. 統括および管理運営	8.4 事務と運営
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
教育の改革を推進するために、教学に関わる事務を含めた組織の支援体制を強化すべきである。	
改善状況	
医学教育推進センターの開設及び新たな専任教員の配置を決定した。	
今後の計画	
令和5年4月から医学教育推進センターを開設する。また、同センターの専用スペースを確保し、同年5月より専任教員及び専任事務員を配置する。	
改善状況を示す根拠資料	
8.4 戦略企画室会議（2月・資料 1-1：神戸大学医学部附属医学教育センター内規（案）等について）	

9. 継続的改良	
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
教育研究・IR委員会、カリキュラム評価委員会、医学教育改革諮問委員会等の活動の充実を図り、継続的な改良を進めるべきである。	
改善状況	
教育研究・IR委員会のほか医学教育改革諮問委員会の提言を参照しながら、カリキュラム策定運用委員会及び関連WGを複数回開催し、カリキュラムの継続的な改良を進めた。	
今後の計画	
引き続き、教育研究・IR委員会を活用し、また、医学教育改革諮問委員会の充実を図りながら、カリキュラム策定運用委員会を中心にカリキュラムの継続的な改良を進めていく。	
改善状況を示す根拠資料	
1.4-3,4 令和4年度 カリキュラム策定運用委員会議事要旨（6月28日，11月28日）	
9.-1 令和4年度 カリキュラム策定運用WG議事要旨（8月31日）	
9.-2 令和4年度 カリキュラム策定運用WG議事要旨（10月17日）	